

ODF 解析結果の妥当性評価

# V a l u e O D F ソフトウェア

Ver1.89MVF

2016年09月12日



*HelperTex Office*

<http://www.geocities.jp/helpertex2>

操作上、不都合がありましたら [odftex@ybb.ne.jp](mailto:odftex@ybb.ne.jp) へ連絡下さい。修正版は mail で送付致します。

## 履歴

- \* Ver1.72 2008-12-05 GetHomeDir()対応
- \* Ver1.730 2009-03-12 HELP
- \* Ver1.740 2009-10-30 StandardODF dir set
- \* Ver1.742 2010-01-06 コメントを外す。
- \* Ver1.743 2010/06/28 gc()
- \* Ver1.744 2010/09/13 PrintDisplay のサポート  
印刷のための PrintDisplay のサポート、MultiDisplay1.107 以降のバージョンが必要
- \* Ver1.747 2011/01/23 repaint()
- \* Ver1.82X TexTools で比較指数がずれる。
- \* Ver1.83X Rp%のサポート
- \* Ver1.84X 2014/04/23 LaboTex 以外の R p %の規格値を indata->outdata に変更
- \* Ver1.85X 2014/04/23 NewODF のサポート
- \* Ver1.86X 2014/04/29 LaboTex TPF ファイルのデータ繋がり対策
- \* Ver1.87X 2014/07/03 LaboTex, TexTools Step 1.0, 2.5, 5.0 に対応
- \* ver1.88VF 2014/11/27 LaboTex の ODF 図と VolumeFraction の ODF 図を同時指定を可能にした

## 概要

ODF解析は入力された極点図から各種の方法で、結晶方位分布図を表示するが、その解析結果が測定した試料結果として正しいのか判断が難しい。本ソフトウェアはこの判断をサポートします。本来、測定光学系の特性を正確に補正がされていれば、ODF入力極点図とODF結果の再計算極点図は全く同じになるはずであるが、ほとんどの場合、期待できない。ではどの程度の差異があるのか本ソフトウェアで検証することで、補正を考え直すか、入力極点図の範囲を変更するか等の判断材料が得られます。

入力データはODF入力極点図とODF再計算極点図

## 計算

計算は

$$F(\text{Alpha}) = (I_o(\text{Alpha}, \phi) - I_r(\text{Alpha}, \phi)) / I_o(\text{Alpha}, \phi) / \text{All} * 100$$

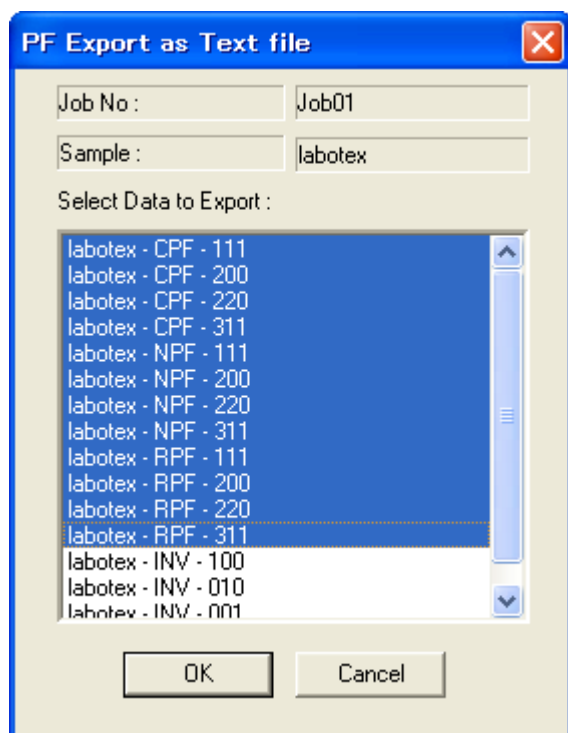
$$\text{Rp}\% = \sum \text{abs}(F(\text{Alpha}))$$

All : 再計算極点図の計算に使用した強度の積算

## 入力データの指定方法

### LaboTex

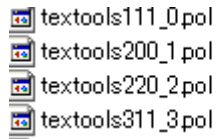
ODFから極点図をExportする。



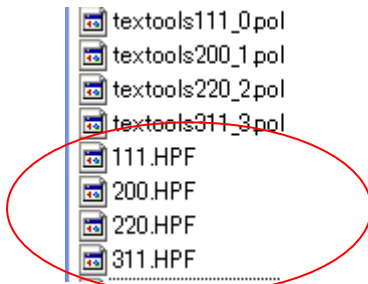
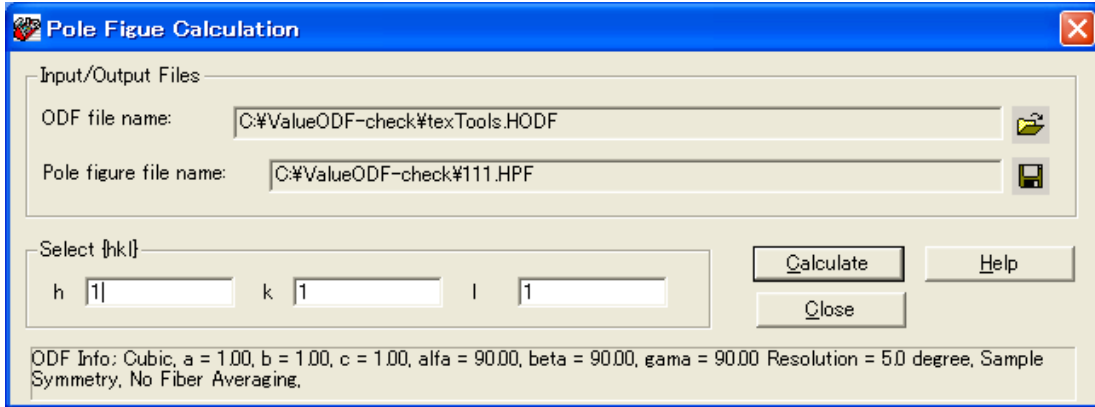
## TextTools

入力極点図のディレクトリにODFで入力した極点図の再計算極点図を作成する。

入力極点図



再計算極点図の作成（極点図毎に）



作成された再計算極点図

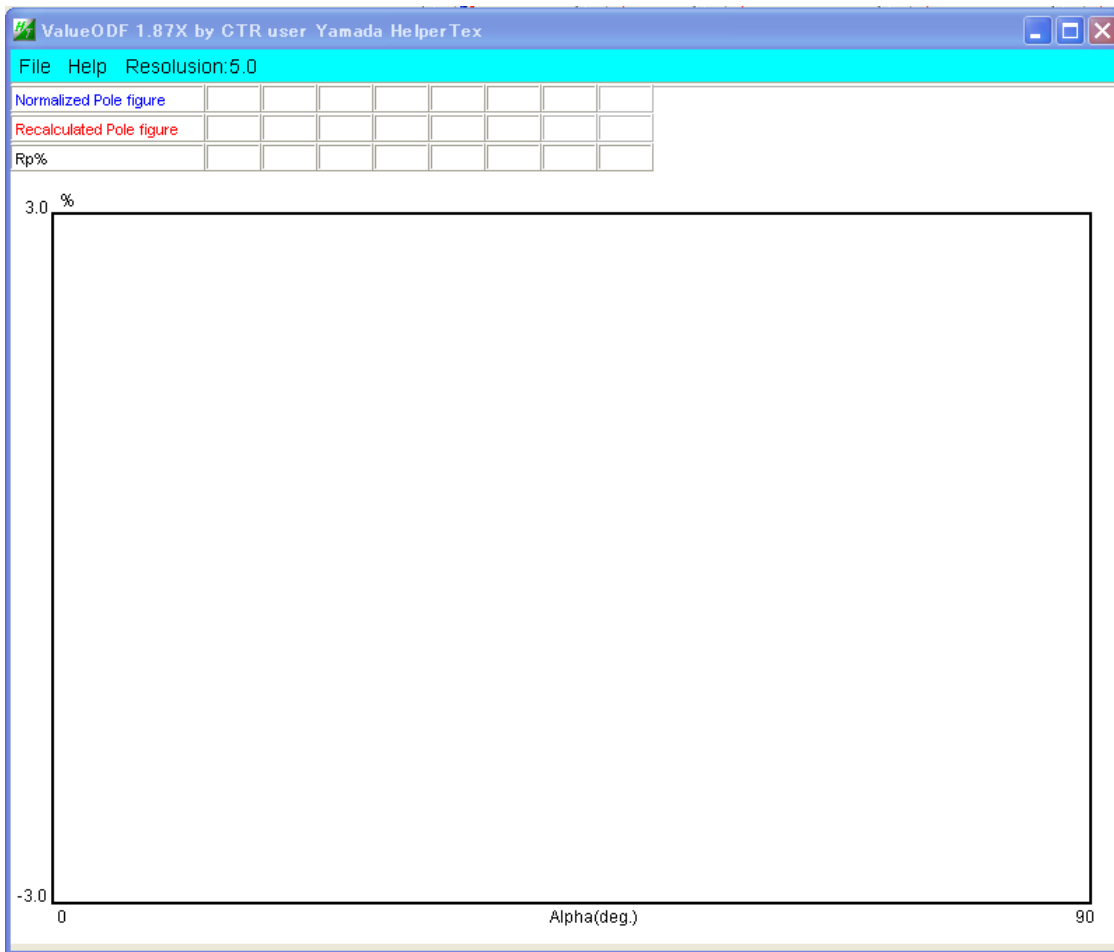
## Standard ODF



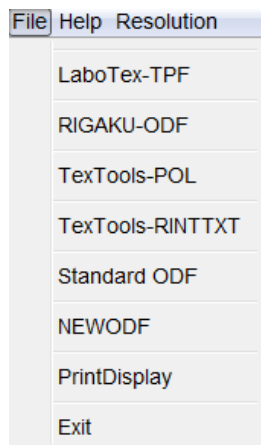
入力極点図と再計算極点図を合わせて指定する。

## 操作方法

C:\CTR\bin\ValueODF.jar で起動



## 入力ファイルの指定



### LaboTexの場合

1つのTPFファイル ( $\phi 1$ 、 $\phi$ 、 $\Phi$ 、Value))

### TexToolsの場合

ディレクトリ指定

### StandardODF

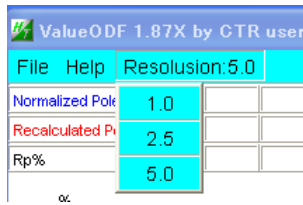
StandardODFがインストールされているディレクトリのトップ

例: C:\ODF

### NewODF

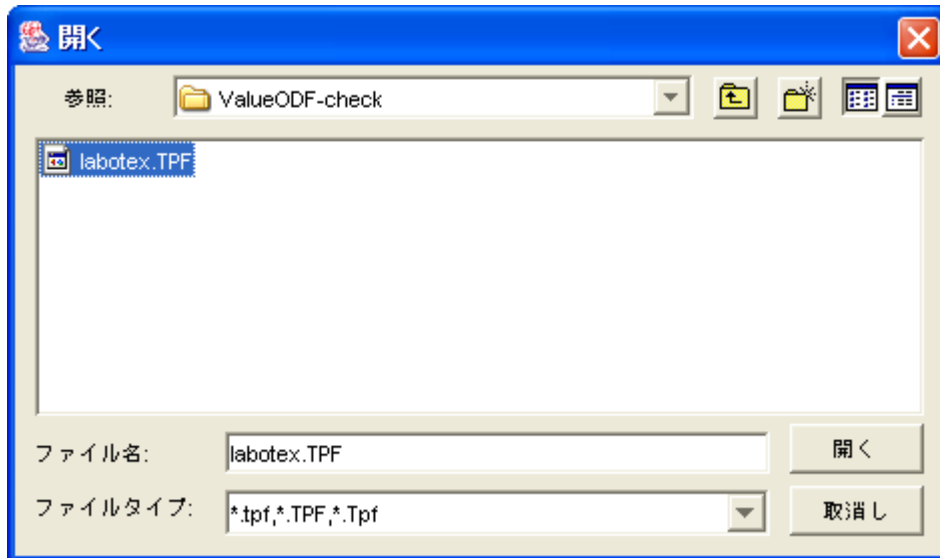
1つのTXTファイル ( $\phi 1$ 、 $\Phi$ 、 $\phi$ 、Value)

## 極点図のサンプリング間隔指定

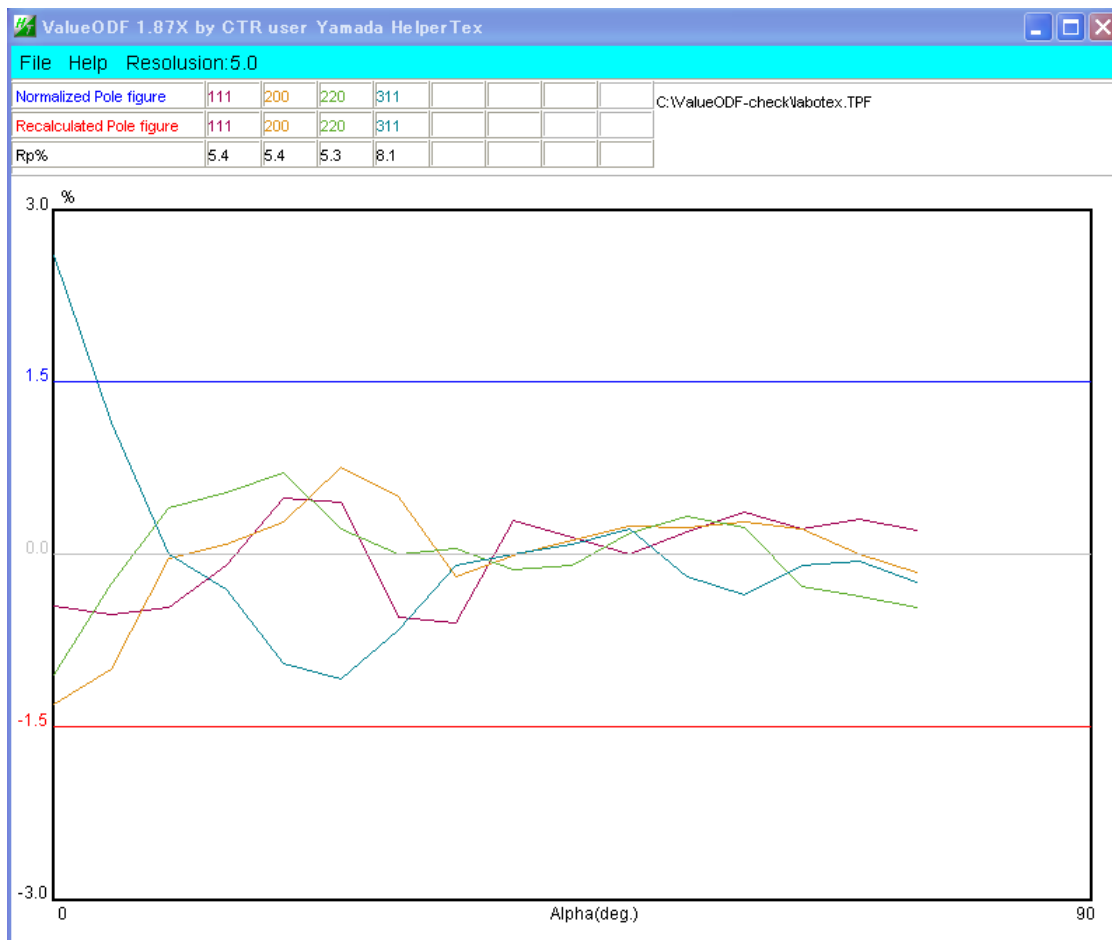


前回設定した値を表示する。入力ファイルと設定値が異なると動作しません。

## Labotexの例

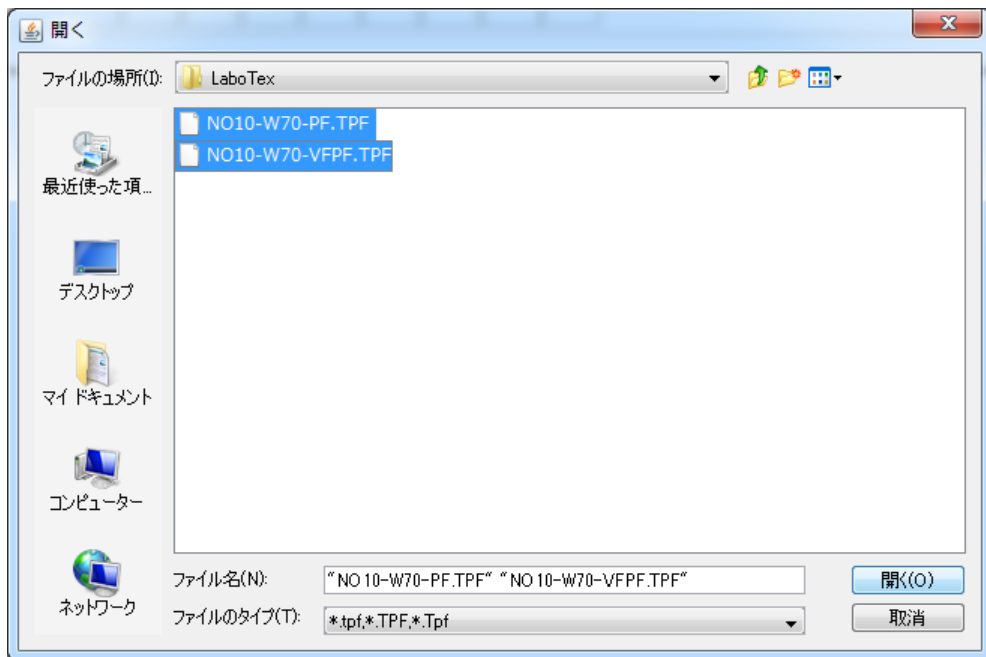


## TPFファイルを指定

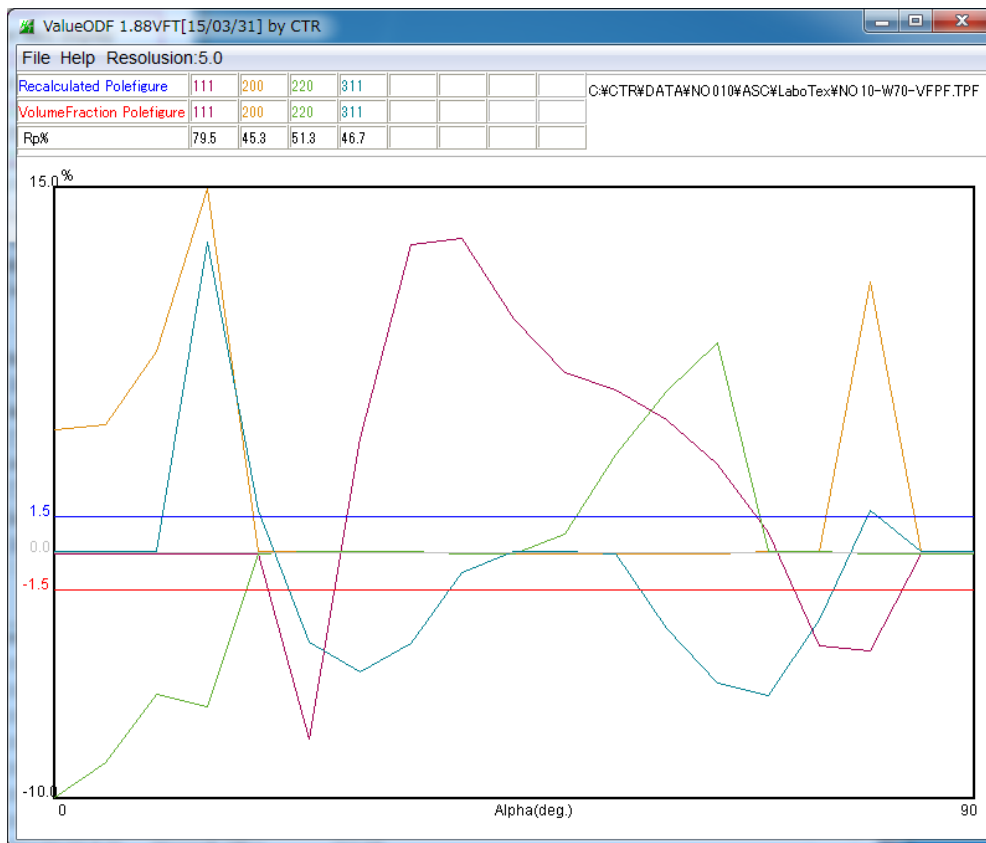


結果が表示される。

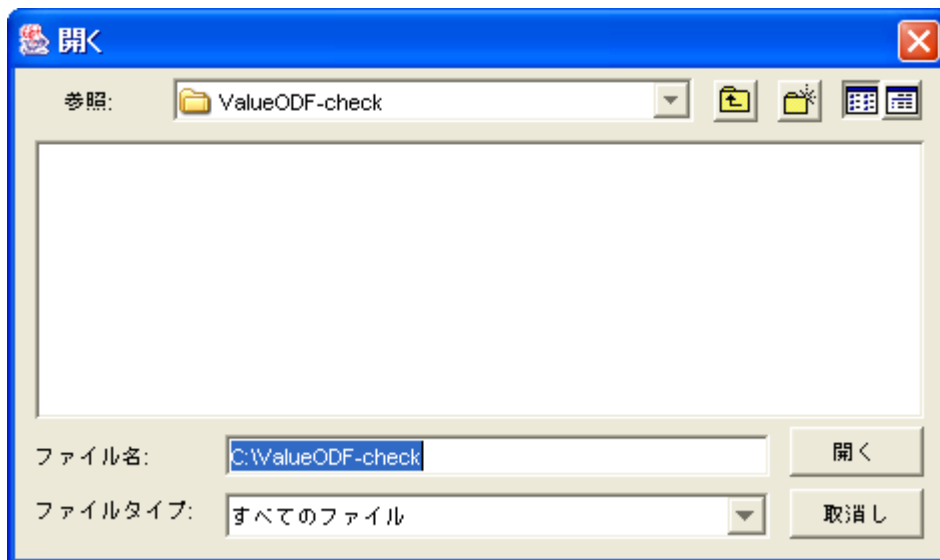
LaboTexのODF図のRecalcPolfigureとVolumeFractionのAddPoleFigure比較



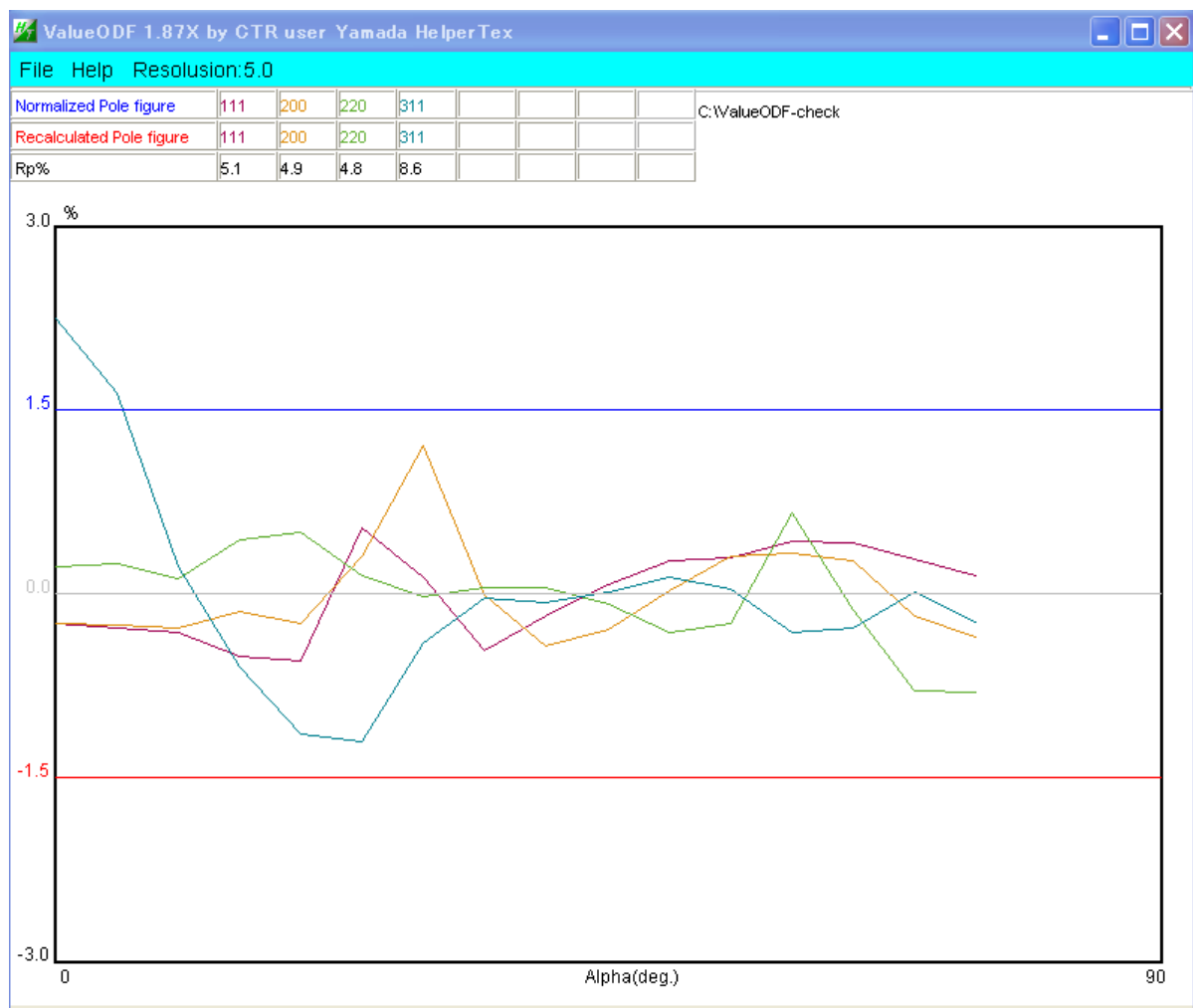
VolumeFractionのExport極点図ファイル名の文字数を多くして下さい。



TextToolsの場合

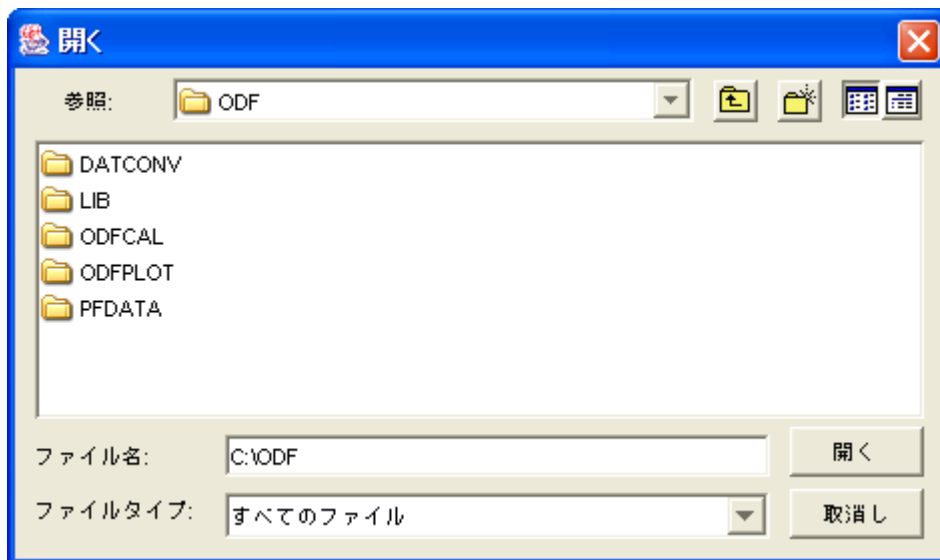


ディレクトリを指定

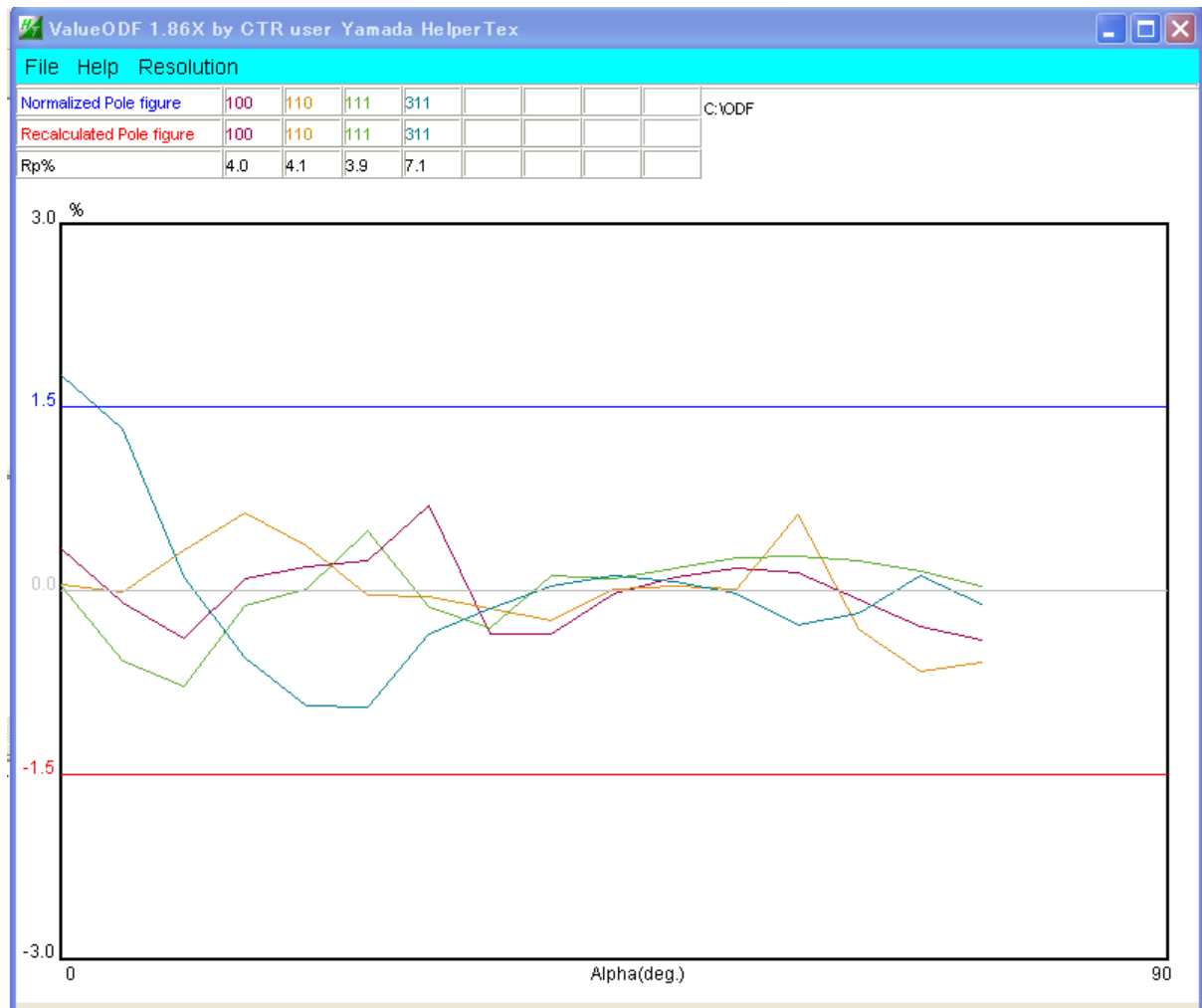




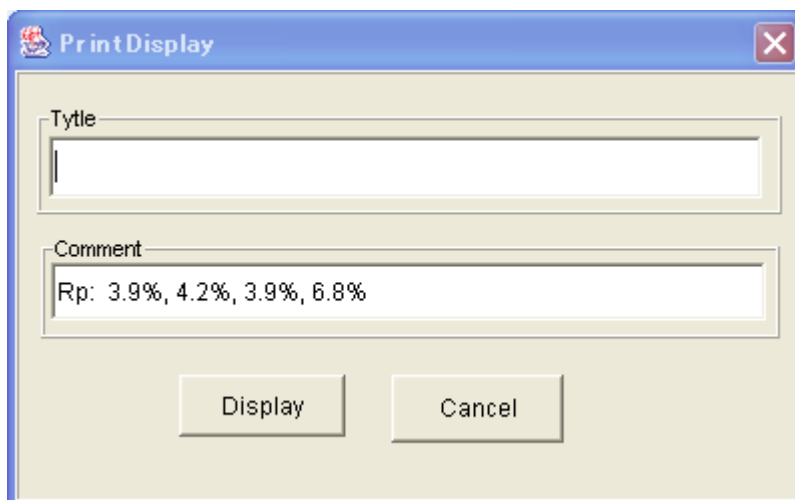
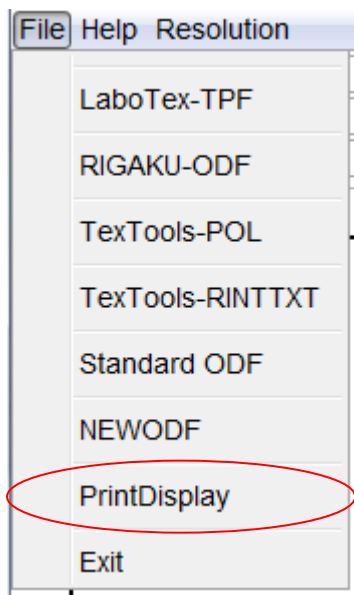
# StandardODFの場合



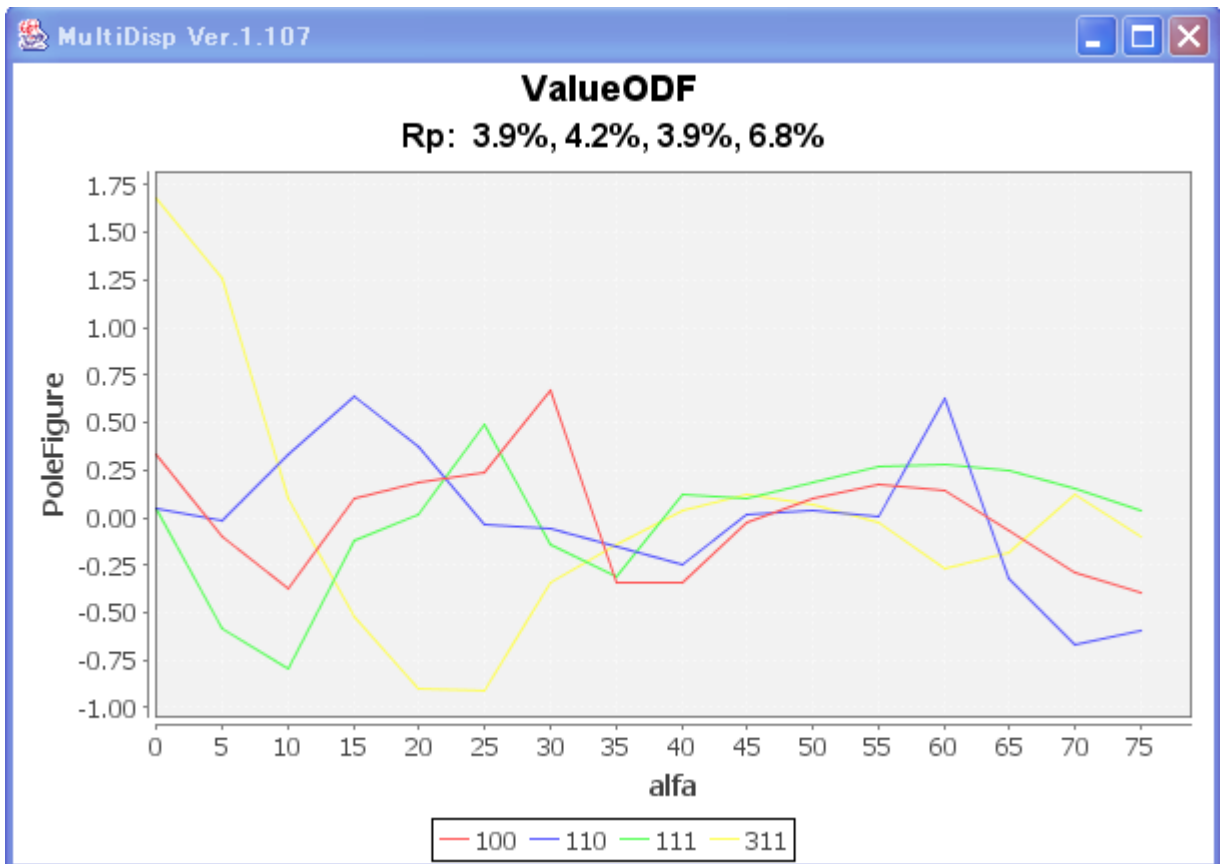
C:\¥ODF を指定



印刷の為のMultiDisplay

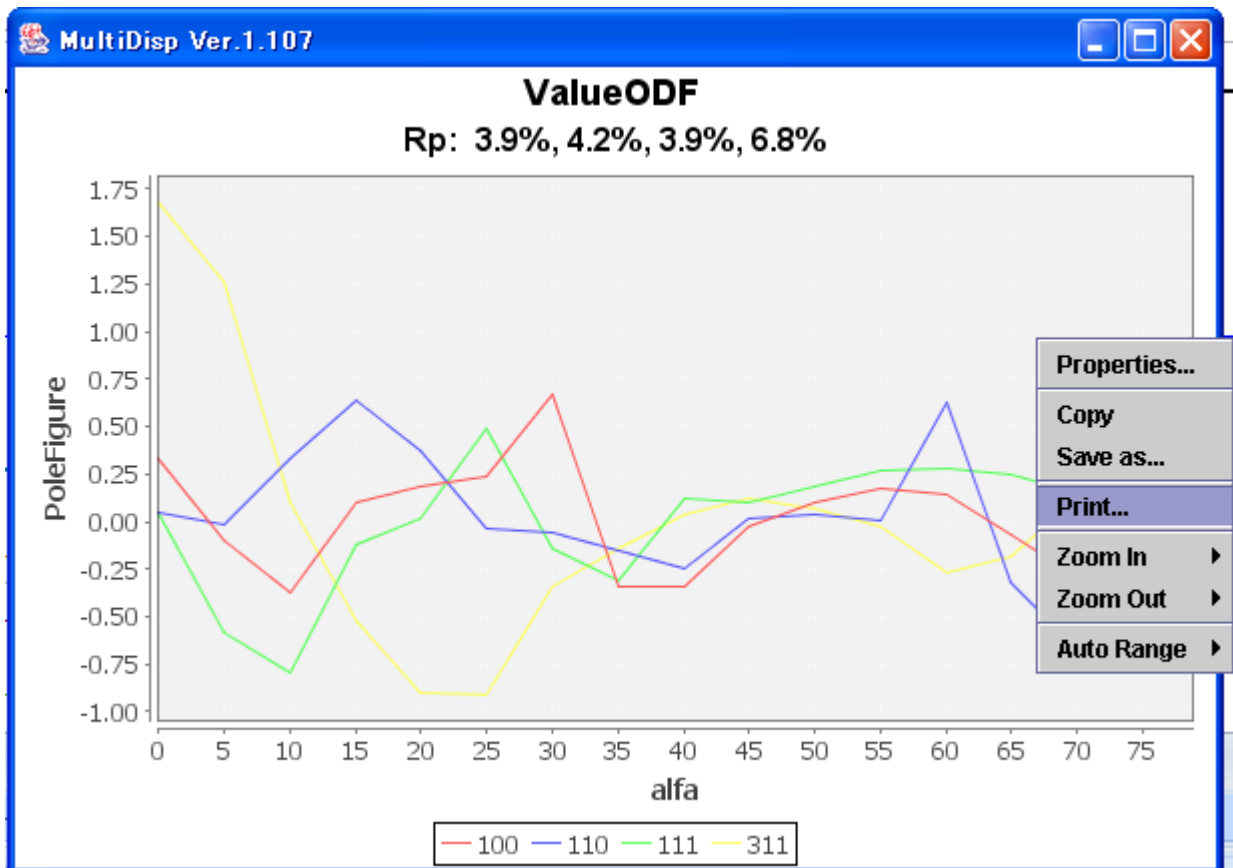


TitleとCommentを入力



この画面から印刷を行う。

画面の中を右クリック



Printを選択すれば印刷が可能